

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE
ROAD

2024年
夏号
vol.41



事業団公式マスコットキャラクター
りはみん

INDEX

- ◆令和6年度 事業計画のあらまし
- ◆瑞穂区障害者 基幹相談支援センターの移転
- ◆プラザYouTubeチャンネルの紹介・おむつ選びの専門家動画
- ◆りはみんサロン(2024年2月～3月)
- ◆募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会

特集

瑞穂区障害者 基幹相談支援センターが 移転しました

詳細はP4-5へ



社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

令和6年度 事業計画のあらまし

令和6年度の事業計画が、3月18日に開催された理事会にて決定されました。

令和5年度は、なごや高次脳機能障害支援センターの事業拡大に伴って人員体制を強化し、国土交通省の社会復帰促進事業への取り組みとして、医療機関や地域の事業所との連携をより広くより密に行い、実績を積み上げてきました。令和6年度は、瑞穂区障害者基幹相談支援センターの移転と重層的支援体制整備事業の開始、再選定された障害者就労支援センターめいりはの事業継続開始など、節目の年ともなり、これまでの取り組みや実績とも合わせて、令和7年度以降の総合リハビリテーションセンターの次期指定管理を視野にいた事業運営が求められます。名古屋市域・愛知県域における障害者リハビリテーションの中核施設として、高次脳機

能障害の支援拠点機関として、今後の事業団のあり方を決定し、新たな事業展開に向けて検討を進めてまいります。

一方、令和7年度のリハビリテーションセンター附属病院の名古屋市立大学病院化に伴い、事業団は大きな変革の時を迎えようとしています。附属病院の開設者変更に伴う工事などの開始、介護保険事業の終了、福祉部門の新たな事業の検討、職員の所属先の決定など、利用者さんだけでなく職員にとっても心揺れる1年となることだと思います。しかし、「心の通いあいを大切にしたリハビリテーションをめざす」というリハビリテーションセンターの理念を忘ることなく、職員一同業務にまい進していきます。

以上を踏まえ、令和6年度の事業展開にあたっては、次の事項を重点事項として取り組みます。

1 令和7年度からの事業展開に向けた準備

令和7年4月からリハビリテーションセンター附属病院が名古屋市立大学へ移管されることに伴い、病院事業および介護保険事業が総合リハビリテーションセンターの指定管理事業ではなくなります。しかし、医療との連携を維持し、社会リハビリテーション・職業リハビリテーションを推進する総合リハビリテーションセンターとして、高次脳機能障害者や視覚障害者への支援

事業の拡充、バリアフリー整備の支援や地域の人材育成を通じたまちづくりへの貢献など、新たな事業展開に向けた準備を進めます。

また、規程や要綱の整備、各種届出の変更、パンフレットや事業団公式Webサイトなど広報媒体の整備などを行い、令和7年度からの事業がスムーズに開始できるよう体制を整えます。

2 リハビリテーションセンターの機能保全工事と附属病院の市立大学病院化に向けた工事などの実施

築30年を超え、建物の老朽化が進んでいます。令和5年度に引き続き、エレベーターの更新や、外壁、屋根防水補修の工事など、名古屋市住宅都市局による機能保全工事が実施されます。

また、附属病院の移管に伴い、医療法上必須となる病院と障害者支援施設の区分けのための工事や施設

基準に対応した改修工事などが実施されます。

他にも、内装・トイレなどのリニューアルも実施が予定されており、複数の工事を同時にしていくことになるため、事業運営や利用者さんなどへの影響が最小限になるよう努めます。

3 経営戦略計画の推進

令和6年度は、第5次経営戦略計画(令和5年度から令和7年度まで)の2年目にあたります。新型コロナウイルス感染症の影響が見られた事業実績も、令和5年度からは徐々に回復の傾向にありますが、令和6年度に

おいては、工事などの影響が懸念されます。可能な限り事業運営への影響を軽減し、計画の推進に努めます。

また、令和7年度に向けた計画の見直しを行います。

4 報酬改定への対応

令和6年度は、診療報酬、介護報酬および障害福祉サービス等報酬の同時改定の年となります。

診療報酬改定においては、基本方針に、医療・介護・障害福祉サービスの連携強化が掲げられており、サービスの円滑な移行のため、関係機関との情報共有をより

進めしていくよう努めます。

また、障害福祉サービス等報酬改定においては、基本報酬の見直しや高次脳機能障害者支援に関する新たな加算、自立訓練の評価指標導入への対応を図ります。

5 瑞穂区障害者基幹相談支援センター・地域活動支援センターつきみがおかの運営

令和6年4月から、名古屋市社会福祉協議会と瑞穂区社会福祉協議会に当事業団を加えた三者での事業共同体(コンソーシアム)で、名古屋市から受託した名古屋市重層的支援体制整備事業が開始されます。区内のいきいき支援センターをはじめとする関連相談機関との連携実績や、精神障害領域を含むさまざまな地域の課題解決に関わってきた実績などを活かして、本

事業の実施に貢献していきます。

また、令和6年5月、瑞穂区役所の近くに移転し、重層的支援体制整備事業における共同事業者間の連携強化や地域の相談支援体制の強化に努めます。

さらに、令和6年9月からの再受託に向けても準備を進めます。

6 人材確保と人材育成

事業団が質の高いサービスを提供し続けるためには、人材の確保と次世代の育成が必要です。

人材の確保については、他部門で連携して戦略的・計画的な広報に努めるとともに、就職説明会、インターンシップや職場見学の充実を図り、職場フェアへの参加、的を絞った広報など、採用広報にも引き続き力をいれていきます。

人材育成については、工事の影響により例年通りの研修実施は困難となりますが、令和7年度以降の新体制につながるよう、事業や職員間の連携など、テーマを絞った研修を実施します。



瑞穂区障害者 基幹相談支援センターが 移転しました



瑞穂区障害者基幹相談支援センター・地域活動支援センターつきみがおかは、2024年5月より、地下鉄桜通線「瑞穂区役所」駅近くの場所に移転をしました。

瑞穂区障害者基幹相談支援センターは、障害のある方やその家族など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことを支援するために、福祉サービスの利用に関する相談をはじめ社会参加に関すること、家族や友人など人間関係に関するここと、不安の解消などさまざまな相談に応じている身近な相談窓口です。

総合的な相談支援として、障害のある方やご家族、支援関係者、地域住民などさまざまな立場の方の相談に応じています。また障害福祉サービス事業所などと連携して支援を行うほか、事業所に対し必要に応じて助言などを行う後方支援を行っています。

他にも障害のある人の権利擁護や、誰もが暮らしやすい地域環境づくりの推進のために「自立支援連絡協議会」の事務局を担当し、区内の支援関

係者と協力して研修会や普及啓発イベントを開催したり、地域に出向いて講座を開いたり地域課題の解決に向けて協議しています。

さまざまな取り組みの中でも、今後より一層さまざまな関係者と共にチームとなって障害のある方の暮らしを支えられるよう「多職種協働」を重視していきたいと考えており、今年4月から本格実施となった瑞穂区における重層的支援体制整備事業の受託法人の一つとして取り組みに参加することとなりました*。この4月より、基幹センターで長年経験を積んだ職員1名が瑞穂区社協に出向し、地域包括支援チームの一員として複合的な課題を有する世帯等の支援にあたっています。基幹相談支援センターとしても、これまでの瑞穂区内の関係機関との連携実績や、精神障害領域を含むさまざまな地域の課題解決に関わってきた実績などを活かして、本事業の実施に貢献していきます。

*名古屋市社会福祉協議会・瑞穂区社会福祉協議会・名古屋市総合リハビリテーション事業団の三者での共同事業体「なごや・瑞穂地域共生のまちづくりコンソーシアム」で事業受託



イベント当日は大盛況でした

小さなお子さんもお抹茶を体验

誰もが暮らしやすい地域環境づくりには地域にお住まいの皆さまの存在が必要不可欠です。基幹相談支援センター併設の「地域活動支援センターつきみがおか」は、居場所や活動の場、自己発見の場など、さまざまな目的で通所しながら活動を通して地域とつながる機会



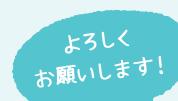
を提供していますが、今後は今まで以上に「地域とつながる」ことを大切に、誰でも気軽に立ち寄れるような、地域に開かれた施設づくりを目指していきたいと考えています。

移転初日より、地域の皆さまへのご挨拶や当施設の取り組みの紹介を兼ねてオープニングイベントを開催いたしましたが、職員の想像以上に地域の方々の参加がありました。イベントでは、地域活動支援センターつきみがおかの利用者さんが、日頃の活動での経験を活かして手順やコツを参加者に

伝えるスタッフとして活躍しており、当日の様子からは、利用者・地域住民などの枠にとらわれない、共に支え合う関係性が強く感じられました。今後も、このように互いに知り合う機会を積極的につくっていきたいと考えています。

これまでの取り組みの中で生まれたつながり、今回の移転をきっかけにできたつながりを活かし、また今後よりその輪を広げていけるよう尽力していきますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

新所在地	名古屋市瑞穂区北原町3丁目2番地 ジュネス瑞穂1階 (地下鉄桜通線「瑞穂区役所」駅から西へ徒歩約2分)
電話番号	052-680-7111
FAX番号	052-680-7626
業務開始日	令和6年5月1日(水)
開所日・時間	月曜から金曜日、第2土曜日



マスコットキャラクター



つきほ

- 瑞穂区障害者基幹相談支援センター
9:00～17:00
 - 地域活動支援センターつきみがおか
9:30～17:00





プラザYouTubeチャンネルの紹介



なごや福祉用具プラザは、2020年にYouTubeチャンネルを開設し、現在までに約90本の動画を公開しています。福祉用具や介護ロボットの紹介、介護ロボットセミナー、家族介護者教室の案内など、福祉用具・介護ロボット、介護に関するコンテンツを提供しています。今後もさら

にコンテンツを充実させていく予定ですので、ぜひチャンネル登録をお願いします。

なごや福祉用具プラザ
公式チャンネル



おむつ選びの専門家動画について



2024年6月現在、名古屋市には約150名の「大人用おむつ選びの専門家」が誕生しています。それぞれドラッグストアやスーパー、介護保険事業所などで活躍されていますが、限られた接客時間の中で、排せつにお困りの方それぞれにぴったり合ったおむつを選定することに苦労されていると伺いました。

そこで、なごや福祉用具プラザでは「おむつ選びの専門家向け」と「介護をされているご家族向け」に動画を作成しました。

5分程度でおむつを選ぶポイントやお困りごとにに対応した内容をお伝えしています。YouTubeにもアップ予定ですのでよろしければご覧ください。

おむつ選びの専門家の皆さんへ

- ・おむつのモレをなくすコツ
- ・おむつの選び方
- ・ちょいモレ対策



介護をされているご家族さまへ

- ・おしりまわりのスキンケア
- ・排せつ支援用具の選び方



りはみんサロン報告 (2024年2月・3月)

2024年
2月

「新聞ちぎり絵で葉書作り」を開催しました！

2024年2月6日(火)にりはみんサロン「新聞ちぎり絵で葉書作り」を開催しました。

なごや福祉用具プラザの職員が講師を務めました。当日は、14名の方にご参加いただき、和気あいあいとした時間を過ごしていただきました。

職員が準備した新聞ちぎり絵の見本を、講座が始まると前に見ていただき、どの作品にするのか検討していくたたいたことで、1時間という短い時間での作品作り

でしたが、滞りなく終えることができたと思います。



完成

制作中はどんな作品にしようか悩まれていた方も、試行錯誤されアレンジを加えながら取り組まれ、最後は笑ってお話しされる姿を見ることができました。

最後に、なごや福祉用具プラザ主催の講座の内容や福祉用具について、パンフレットや福祉用具を実際に示しながらお伝えしました。お越しいただいた多くの方に「とても楽しかった」「ご飯作りや皿洗いをせずに、こればかりやっていたら良いのに」とのお声をいただきました。



展示した福祉用具

福祉用具プラザの紹介

2024年
3月

「リハビリセンターの紹介と防災講座」を開催しました！

2024年3月5日(火)に「リハビリセンターの紹介と防災講座」をテーマに開催しました。当日は13名の方にご参加いただき、DVD鑑賞によるリハビリセンターの紹介と瑞穂区役所職員による防災講座(ハザードマップと避難行動、避難所の開設や運営、被災地避難所派遣職員からの報告、日頃の備えや防災備品の紹介など)を行いました。

1月には能登半島における地震もあり、参加者の皆さんの防災、特に地震に対する危機意識はとても高く、皆さん熱心にお話を聞いておられました。

自宅での食料などの備蓄・非常持ち出し品の準備、家族との連絡方法、避難場所の

確認など、備えておくべき事項についての説明がありました。災害発生時に、家族が一緒にいるとは限りません。それぞれが安全な場所に避難



講座

した後、どのように合流するのか、きちんと確認しておく必要があります。また、災害が発生した時の避難所の運営は『避難者による自主運営』です。指定避難所の防災備蓄倉庫に避難所開設キットが配備されており、そのマニュアルに沿って役割を決め、自主運営をします。「私も、あなたも、当事者です。いざという時に動けるように、訓練は必要だと思うんです!」という参加者の声がとても印象に残りました。

今回の講座が、地域住民の方の防災に対する意識を深める一助となることを願っています。

水分を固める
吸水性ポリマーの体験



質問コーナーでの意見交換

私たちと一緒に
働きませんか

事業団職員 大募集



随時
募集中
です!

職場見学
大歓迎

現在募集中



正規職員

事務社会福祉職
(就労支援等経験者、相談支援専門員)を
募集中です。

嘱託職員

嘱託(パート)職員を募集中です。
下記二次元コードで
募集案内をご覧ください。

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団
総務部総務課 採用担当
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

正規職員募集
についてはこちら

嘱託職員募集
についてはこちら



事業団ウェブサイト

<https://www.nagoya-rehab.or.jp>
事業団公式HP▶



事業団公式X(旧Twitter)

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式
→ @nagoya_rehab

事業所案内

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
- ・福祉スポーツセンター
- ・障害者就労支援センター めいりは
- ・なごや高次脳機能障害支援センター

〒467-8622
名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
電話: 052-835-3811 FAX: 052-835-3745

名古屋市障害者スポーツセンター
〒465-0055
名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地
電話: 052-703-6633 FAX: 052-704-8370

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015
名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1
御器所ステーションビル3F
電話: 052-851-0051 FAX: 052-851-0056

移転しました

- ・瑞穂区障害者基幹相談支援センター
 - ・地域活動支援センター つきみがおか
- 〒467-0811 名古屋市瑞穂区北原町3丁目2番地
ジュネス瑞穂1階
電話: 052-680-7111 FAX: 052-680-7626